

令和7年7月28日 会派行政視察 神奈川県海老名市

調査事項「海老名市立図書館」について

所管 海老名市教育部学び支援課

文責；小林正樹

【海老名市について】

面積 26.59 km²に人口 141,000 人が居住しており、周南市と比較すると、同規模の人口で2.5倍の人口密度ということになる。特筆すべきは未だに人口増加が続いている市町であり、10年を目途に減退に転じる見通しということであった。その最大の要因は、JR 相模線・小田急線・相模鉄道の3路線が交わる抜群の交通アクセスで、都心のベッドタウンとしての人気が高いということである。

【所感】

海老名市が有する2図書館（中央図書館と有馬図書館）の指定管理開始から10年が経過し、令和6年に第三期の指定管理を開始した。第二期までは、CCC と TRC の共同企業体による指定管理だったが、第三期からは別々の管理方針を打ち出し、中央図書館は CCC が、有馬図書館は TRC がそれぞれの施設を指定管理している。

座学で概ねの説明を受けたあと現地に移動し、館長から4階～地下1階まで見学しながら各階のコンセプト等を聞くことができた。キッズスペースとなっている4階の天井はドーム型となっており、それを活用したプラネタリウムの企画はとくに人気を博しているということだった（今年度は機械の不具合により未実施）。1階のスペースでは定期的に講師を呼んで講座を開くとのことだった。屋外テラスから中央図書館周辺を見渡すと、思いのほか水田に囲まれている立地であった。隣地は海老名市文化会館との共同平面駐車場を整備中、反対側の隣地は築浅の大型マンションが立地しており、中央図書館を核とした文化ゾーンの都市開発は未だ発展途上の段階にあることをうかがわせた。

【質疑】

問) 指定管理導入にあたって紆余曲折あったと思うが現在はどうか。

答) 当時や導入後しばらく反発の声はあり対応にも苦慮したが、徐々に理解が得られ、市内外からの利用者が堅調に伸びており、当時の判断は良かったのではないかと考えている。今の市長が当時の市長ということもある。

問) 2図書館を別々に指定管理にした理由は。

答) それぞれが特色ある図書館として個性を際立たせたいと考えた。中央図書館は「多くの人が集うにぎわいの拠点」有馬図書館は「地域のつながりの拠点」、ただ、CCC と TRC は元々JVを組んでいた経緯もあり、現在も横の連携は必須であるしできていると評価している。

問) 災害時の対応に懸念は。

答) 3線結節の海老名駅は大規模災害時に駅滞留者が多く発生することが分かっている。駅から一番近い公共施設として①文化会館②中央図書館を優先順位に滞留者受け入れを想定している。指定管理者との連携、災害時の想定や訓練等、課題は多いと考えている。

自由民主党周南 会派視察報告

視察日 令和7年7月29日（火）午前10:30～12:00

視察地 東京都大田区

視察事項 ボートレース平和島の状況について

応 対 府中市 職員より説明を受けた。

※府中市ボートレース企業局

局長 [REDACTED] 氏

総務課長 [REDACTED] 氏

総務課長補佐 [REDACTED] 氏

【説明】 「ボートレース平和島」は昭和29年6月5日に東京都が設置し、開催されたが、状況が思わしくなく、翌年昭和30年9月2日に東京都が中止し、運営する自治体を探すなかで、府中市が引き受け、昭和30年9月20日より、府中市が開催することとなる。施設は、東急開発株式会社の持ち物で、競走会は一般財団法人日本モーターボート競走会。

施設収容人員は、12,121人で、一般席が928席、立見席が10,659席、指定席が534席であるが、指定席には特別観覧席500席、ロイヤルルーム席が34席ある。

駐車場については、1,358台。正門前に71台。立体駐車場が955台と東急開発の駐車場が332台使用できる。

発売払戻窓口数は、発売69窓。発売払戻65窓。払戻2窓。に自動販売機を設置。そのほか有人機が払戻7窓。相互払2窓。世知している。

映像装置は、モニターを565台設置。対岸大型モニターは915インチ。他に平成29年4月に高さ2.4m幅20mのLED映像装置を新設した。

従業員数は女性22名。窓口業務18名。投票庶務4名。である。

売り上げは、令和6年度79,494,244,400円。令和4年には84,178,116,100円だった。180日開催で、入場料収入は28,172,000円が令和6年の実績。

競艇場の横には「ボートレース平和島劇場」という外向販売所があり、収容人員が1,790人吹き抜けフロアで入場料は無料。300インチのLED表示装置を2台設置し、他にファン用に198台のモニターと有料席に316台のモニターを設置している。

この施設についても、京急開発株式会社が設置し、府中市が運営している。

場外発売場について

○ポートピア河辺

秋田市に平成7年に設置。運営管理は富士レックス株式会社
令和6年度売上は平和島と場外を合わせ、1,960,823,300円。

○ポートピア横浜

横浜市に平成19年に設置。運営管理は株式会社モーターボートヨコハマ。
令和6年度売上は平和島と場外を合わせ、9,365,625,500円。

○ミニポートピア黒石

青森県黒石市に設置。運営管理は株式会社ウェブ21。
令和6年度売上は平和島と場外を合わせ、1,291,452,700円。

○オラレ上越

新潟県上越市に設置。施設を上越市より借上げ、富士レックス株式会社が運営管理。
令和6年度売上は平和島と場外を合わせ、981,112,300円。

○オラレ刈羽

新潟県刈羽村に設置。施設を刈羽村より借上げ、富士レックス株式会社が運営管理。
令和6年度売上は平和島と場外を合わせ、691,316,100円。

所 感

東京都が設置、開催していたが、運営が厳しく、自治体に運営を促したところ、府中市が希望し、運営している。大田区にありながら離れた府中市が運営しているところが以外であり、当時の状況と比べると市の財政に大きく影響していると思われる。

土地、施設を京急開発株式会社より借りた格好で運営されており、一帯も京急開発株式会社が運営する事業が集積されている。

ボートレース事業ほか、日帰り温泉施設「天然温泉平和島」ボーリング場「平和島スターボール」インドアゴルフスクール「ステップゴルフプラス」等がある。また、BIGFUN平和島という複合商業施設の中には、「ガシャポン」や映画館、アスレチック、ドン・キホーテ、業務用スーパー、カラオケボックス、ゲームセンター、パチンコ、レストラン、フードコートなどが入っており一帯がレジャーパークのようにになっている。

平和島ボートレースは、海に近い場所で、大田区でもあるので、周辺は住宅街で高層のマンションも多く建っているが、ナイトも開催することになっている。周辺住民に対する配慮が必要と思われるが、近年は戸別ではなく自治会に対して手当をすることにしているらしい。

スタンドを改装する予定があり、工事中であった。
一帯がレジャーパークのようにになっているボートレース場を民間が施設を提供し、離れた自治体の府中市が運営し、利益を上げているところが特徴である。